

事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業	部局	林務部	課・室	信州の木活用課				
		実施期間	S48 ～	E-mail	ringyo	@	pref.nagano.lg.jp		

1 現状と課題

- ・本県は、古くから里山を中心に、きのこを始めとした森林利用が行われてきたが、近年は社会情勢等の変化や森林所有者の関心の低下等により、森林との関わりが低減している。
- ・本県の魅力である、里山の有効活用のため、地域の里山への関心向上を図る必要がある。

2 事業目的

- ・森林を活用した交流人口の増加や地域の活性化を図るため、里山を中心とした、地域や企業等による森林整備、森林資源の多面的な利用を促進する。

3 事業目的を達成するための取組

①開かれた里山の整備及び利用の推進

- ・県民が広く親しめる「開かれた里山」の仕組みづくりや整備・利活用に向けた合意形成等への支援
- ・里山の自立的な整備・利活用に向けたチェーンソー、薪割機、簡易ウインチ等の資機材の支援

②森林サービス産業の推進

- ・安心・安全なフィールド活動のための、市町村・団体等が行う森林整備、チップ歩道やベンチ等の環境整備への支援
- ・地域の里山や学校林等の活用による森林環境教育への支援
- ・森林セラピー基地等を多面的に利用・案内ができるガイド・コーディネーター等の人材の育成

③原木栽培きのこ等の安定供給の推進

- ・東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、経営が逼迫している原木しいたけ等生産者の生産資材導入を支援
- ・特用林産物の生産に必要な生産諸資材の購入に要する資金の融資
- ・きのこ生産資材高騰の影響を受けるきのこ生産者の経営負担の軽減を図るため、生産資材高騰分の一部を助成

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	「開かれた里山の整備・利用計画」の承認地域数	地域	16	13	↘	9	↘	10	未達成	森林づくり県民税基本方針において「県民が広く親しめる里山整備利用地域の数50箇所/5年間」を目標値としているため、当該目標に基づき単年度目標値として10地域を設定
②	森林サービス産業の活動・創業に対する専門家派遣回数	回数	10	10	→	15	↗	10	達成	森林づくり県民税基本方針において「森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数50プロジェクト/5年間」を目標としており、単年度当たり10地域プロジェクトを達成するため、助言による活動を支援する専門家派遣回数を10回に設定
③	林務部所管の特用林産物生産額	百万円	6,168	6,511	↗	6,644	↗	6,089	達成	直近3年間の実績を基に目標を設定し、きのこ等の特用林産物の生産額向上を目指す。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	県民が広く親しめる里山の数(累計)	か所	2023 (R5)	16	2024 (R6)	29	2025 (R7)	38	2027 (R9)	50
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数(累計)	プロジェクト	2023 (R5)	10	2024 (R6)	20	2025 (R7)	30	2027 (R9)	50

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	12,092	68,257	12,909	93,258	1,918	71,989	17.1
R6年度	15,074	73,166	12,127	100,367	1,686	75,693	17.1
R5年度	15,000	57,201	12,883	85,084	1,852	62,438	17.3

事業番号	10 02 03	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業			部局	林務部	課・室	信州の木活用課	

7 主な取組実績と成果

①開かれた里山の整備及び利用の推進

- ・「長野県ふるさとの森林づくり条例」に基づく里山整備利用地域のうち、より多くの県民や県外から長野県を訪れる方が里山に広く親しむことができるよう、レクリエーションや健康づくり、観光拠点などに活用される「開かれた里山」の整備及び利用に取り組む地域を支援した。
- ・県内において市町村や民間団体等が中心となって取り組んでいる「開かれた里山」の事例をまとめた「事例集」等を用いて、全国規模のイベントやホームページ等を通じて積極的に情報発信を行い、認知度の向上と来訪者の増加に努めた。

②森林サービス産業の推進

- ・「信州森林サービス産業推進ネットワーク」を通じて、県の支援策の情報発信を行うとともに、創業に関するセミナーの開催、事業主体同士の交流、情報交換等を行ったことで、意欲的に森林サービス産業に取り組もうとする地域（10地域）を掘り起こすことができた。
- ・森林セラピー基地等11箇所への環境整備を支援した。
- ・森林環境教育を推進するため、フィールド整備や教育活動を支援した。
- ・森林を活用した地域活性化のコーディネーターや森林の癒し効果ガイドの育成研修を5回開催した。

③原木栽培きのこと等の安定供給の推進

- ・東京電力福島第一原子力発電所の事故による影響が継続しているため、原木しいたけ等生産者（3生産者）の生産資材導入を支援することで、安定供給と生産振興を図り地域の活性化を推進した。
- ・きのこ生産資材価格高騰分の一部を助成する事業について、令和6年度からの繰越分として12者の生産資材導入を支援した。なお、令和7年度分の一部を令和8年度に繰越の上、事業執行予定。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	「開かれた里山の整備・利用計画」の承認地域数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
先行事例を県内に広く普及するとともに、様々な機会を通じて制度の周知や取組の支援等に努めた結果、9地域において「開かれた里山の整備・利用計画」を承認し、「開かれた里山」の整備及び利用に向けた取組が開始された。単年度目標は若干下回ったものの、3か年累計では38地域（目標30地域）と目標を大幅に上回っており、順調に推移している。							
指標②	森林サービス産業の活動・創業に対する専門家派遣回数	R6年度推移	→	R7年度推移	↗	達成状況	達成
森林サービス産業の振興に係る支援策の情報発信を行うとともに、関心のある者同士の交流、情報交換の場を創出した。森林サービス産業に取り組む機運を醸成することで、専門家派遣のアドバイスや各種支援策を活用し、主体的に取り組もうとする事業者等の掘り起こしに繋げることができた。							
指標③	林務部所管の特用林産物生産額	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
資材価格高騰に係る支援を行うとともに、原木供給状況の確認、情報共有に努めた結果、生産額の増加につながった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

①開かれた里山の整備及び利用の推進

- ・令和5年度以降に取組を開始した38地域や今後取組を開始する地域において、住民等が主体となり多くの県民等が安心して気軽に利用できる「開かれた里山」として整備するための取組を継続することが必要。
- ・県内の「開かれた里山」に関する情報を広く周知し、より多くの県民や県外から長野県を訪れる方の利用につなげる必要がある。

②森林サービス産業の推進

- ・森林サービス産業に携わる者の裾野を拡大するためには、事業者、利用者等の主体が交流し、情報交換を行える場が必要。
- ・様々な分野での森林空間の活用を進めるためには、関心のある企業や団体等、多様な主体との連携による森林づくりを広げていくことが必要。

③原木栽培きのこと等の安定供給の推進

- ・東京電力福島第一原子力発電所の事故や他用途（バイオマス発電用等）との競合による原木入手困難、原木調達者の減少などにより生産資材の価格高騰の影響が継続している。

(2) 事業改善の方策

①開かれた里山の整備及び利用の推進

- ・「開かれた里山」の整備等に取り組む地域に対して、引き続き計画作成・広報活動や資機材導入等の支援を継続する。
- ・ホームページ、イベント等の機会を捉えて先行事例の普及や事例集等の周知・発信を行うことで、多くの県民等の「開かれた里山」の利用につなげる。

②森林サービス産業の推進

- ・引き続き、「信州森林サービス産業推進ネットワーク」を通じて、事業者や起業に関心のある者等、多様な主体同士の交流や情報交換により、森林利活用に携わる者の裾野拡大を図る。
- ・企業等と地域の協働による森林整備を行う「森林（もり）の里親促進事業」について、企業と地域の調整を担う支援窓口を新たに設置し、マッチング体制を強化する。

③原木栽培きのご等の安定供給の推進

- ・きのご用原木価格の動向について引き続き注視するとともに、原木調達状況をきのご生産者へ共有する等、森林資源の有効活用につなげるため積極的な取組に努める。

事業番号	10 02 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検
事業名	森林資源の多面的利用推進事業		部局	林務部	課・室 信州の木活用課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	開かれた里山の整備・利用推進事業		19,386 千円	23,212 千円	23,468 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	開かれた里山の整備・利用推進事業	委託 補助金	・「開かれた里山」の仕組みづくりや整備・利活用に向けた合意形成等への補助 ・里山の自立的な整備・利活用に向けた条件整備に対する補助 補助地域数 32地域		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	森林サービス産業総合対策事業		20,505 千円	37,347 千円	32,975 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林サービス産業活動支援事業	直接 委託 補助金	・安心安全なフィールド活動のために市町村等が行う環境整備に対する補助 ・森林サービス産業の創業・活動に対する専門家派遣による助言等の支援 ・森林サービス産業に関する情報発信、相談体制の整備 ・森林の里親契約等の企業説明、企業と地域を結ぶ活動の支援 施設・環境整備 11地域		
2	森林サービス産業人材育成事業	委託	・森林セラピー基地等を多面的に利用・案内ができるガイドの育成講座の開催 ・森林を核とした地域活性化を進めるコーディネーター育成講座の開催 ・里山の利活用を進める人材の育成や技術指導研修の開催 ガイド・地域コーディネーター育成研修等 3回、技術研修32回		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	特用林産産地振興総合対策事業		22,547 千円	15,134 千円	15,546 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	特用林産振興資金貸付金	貸付金	特用林産物の生産施設の導入及び生産に必要な諸資材の購入に必要な資金の融資 貸付件数：0件		
2	なめこ生産安定資金造成事業	補助金	なめこの市場価格が低迷した場合に、（一財）長野県野菜生産安定基金協会が生産者に補助金を交付するための資金造成に対して補助 加入団体：7団体		
3	原木栽培きのこ等安定供給推進事業	直接 補助金	・「長野県野生きのこ類及び山菜等における放射性物質の検査方針」に基づき、放射性物質検査及び検討会議の実施 ・きのこ等の生産力を増強するための生産資材導入支援 検討会議：1回		
4	きのこ類生産資材高騰対策事業	補助金	きのこ生産資材高騰の影響を受けるきのこ生産者の経営負担の軽減を図るため、生産資材高騰分の一部を助成（一部翌年度繰越あり） 助成者数：12者		